

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
角田市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	各学校で募集している学校支援ボランティアで充足していない内容があり、課題となっている。	学校が必要としている支援要請に応じて、住民から学校を支援するボランティアを募り、市全体で学校の教育活動を支えていく。	学校が必要としている支援内容に対して、ボランティアを派遣し、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民の参画により、地域全体で子ども達の成長を支え、地域の人と人とのつながりをつくる。	各学校が求める支援内容に対してボランティアに登録した市民の数	30	件	40	45	令和5年度は、ボランティアの登録数も増え、地域の方が学校に入り、学校の教育活動を支えることができた。今後も地域全体で子ども達の成長を支えられるよう、学校を支援していただけるボランティアを募っていく。
角田市	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	全国的に人口減少、少子高齢化となっている今日、学校を核とした地域と連携・協働の取組を通じて、子どもたちに地域への愛着や誇りを育み、これからの将来を担う人材育成を図ることが課題となっている。	地域学校協働本部を設置し、協働活動への評価や検証を行う。	地域への関心や地域貢献の意欲について、前向きに捉える児童生徒の割合を全国平均値と同等にする。	小学6年生、中学3年生の「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査の中から、児童生徒の地域や社会に関わる質問事項を活用し、児童生徒の意識を全国平均値と比較。 【質問事項1】「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」 【質問事項2】「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」	【質問事項1】 小6 -1.5 中3 -8.5 【質問事項2】 小6 -6.6 中3 -1.3	96	【質問事項1】 小6 0 中3 0 【質問事項2】 小6 0 中3 0	【質問事項1】 小6 +5.0 中3 -3.1 【質問事項2】 小6 -2.1 中3 +3.3	現状の数値より、令和5年度については、児童生徒の地域や社会に関心をしめず数値が、全国平均値に近づいてきている。